

校長通信

始業礼拝、始業式

4月7日(月)、離任・新任式、始業礼拝、始業式などを行いました。

離任式では、斉藤事務室長から、「生徒の皆さんと過ごせた、7年7ヶ月の間、充実し、楽しかったです。」とお別れの言葉がありました。今後は、盛岡大学学生部学生支援課長としてご勤務になります。

新任式では、新に着任された先生方からご挨拶を頂きました。(お名前は、このページに記載)

始業礼拝では、土沢教会牧師の生寫陽子先生から「進級おめでとう。人の口からもたらされる言葉の中には、誤解や悪い感情から発せられ、人を傷つけることがある。聖書には『知恵ある人の言葉は、人の心をいやす』とある。この1年、聖書の言葉をのように、人の悪口を言わないように心がけましょう」とお話がありました。

終業式では、私から「授業、家庭学習、部活、行事、様々な決まりなど、しっかり取り組んで、新入生の模範を示してください。」と話しました。

全校集会では、教務課長の照井先生からは、「学習についてのマナーアップの取組を強めます。皆さんの学力の定着と成長のためです。」とお話がありました。生徒指導課長の澤田先生からは、「携帯・スマホは、原則、学校の敷地内では使用禁止とします。やむを得ず使用するときは、先生の立ちあいのもとに使用を認めます。敷地内で

は電源を切り、かばんにしまっておく事になります。」というルールの変更の説明がありました。したがって、廊下や教室で携帯・スマホを出していると、たとえ電源を切っておいても預かることになります。

また、教頭先生から新担任発表(下記)がありました。その後、服装検査、休み明けテスト、明日の入学式の準備などをして、下校となりました。

年組	担任	副担任等
1年1組	吉清水克博	関根伊作(学年長)
	2組 安保奈穂子	関口清治(副学年長)
	3組 平澤 岳	泉山 誠
	4組 村井真人	高橋郁子
	5組 澤山和則	ジョシュア・ウィス
2年1組	松崎克哉	見上匠吾(学年長)
	2組 熊谷洋二	崎山洋明(副学年長)
	3組 中村 翔	照井厚志
	4組 伊藤 綾	笹山眞澄
	5組 辺 明進	小山浩史
3年1組	北村光昭	阿部銀蔵(学年長)
	2組 佐々木智乃	伊藤泰彦(副学年長)
	3組 佐藤一樹	澤田真一
	4組 菅原智彦	小林義孝
	5組 後藤拓美	

■ 離任・新任の先生紹介 ■

前回お知らせした2名の先生方のほかに、さらに1名の先生がご異動となり、年度末のご異動は合計3名となります。(今回異動をお知らせする先生)

斉藤志久子事務室長：ご異動(今後は盛岡大学学生部学生支援課長)

ご異動になった3名の先生のご後任として新たにおいでの3名の先生方の紹介をします。情熱たっぷり、経験豊富、頼れる先生方です。

平澤 岳(ひらさわ たかし)先生：体育
下河原 憲治(しもかわら けんじ)先生：事務室長
千田 勝巳(ちだ かつみ)先生：事務室主事

部活動の記録

○柔道 全校高校柔道選手権大会3月19日

個人戦 81kg級

大内田(盛大附)ー箕島高校 一本負け

○なぎなた 全国大会3月22日

2回戦 中村(盛大附)ー宮崎南高(宮崎県) 勝ち

3〃〃 〃 ー大曲高(秋田県) 負け

・ 終業礼拝から ・

3月18日(火)、礼拝に先立ち、生徒会執行部が出展した図案が「自転車盗難防犯啓発用図案コンクール」で最優秀賞に輝いたので、盛岡西地区防犯協会連合会の切金さんによる表彰がありました。

終業礼拝では、土沢協会牧師の生寫先生から「イエスは処刑される前に、『処刑はいやだが、どうぞ正しいことのためなら従います』と祈りを捧げている。キング牧師は、『何が正しいか、最善の事柄に従う』と言っている。皆さんも、それは正しいのかを常に問う人であってください。」とお話を頂きました。

式辞では「人間が不幸なのは、自分が幸福であることを知らないからだ。ただそれだけの理由だ(ドストエフスキー)。」を紹介し、「努力した3年生を見習って、学び成長する時間はそれぞれあと1年・2年間だ。この春休みから大切に過ごせ。」と話しました。

生徒指導課長の澤田先生からは「4月は自転車の事故が多い。マナーを守ってほしい。」と事例を紹介し、注意を促しました。

離任式では、ご退職になる田村先生から「校舎や、机・椅子など全て大切な思い出、私と違って大切に。また進(裏面に続く)

路希望を早く決めて取り組んで意味のある学校生活を。」と、阿部恵悦先生からは「挨拶、感謝の気持ちそして掃除をきちんとすることも大切」とお話がありました。

また、終業式にあたり、この1年間の校長賞、皆勤賞の賞状伝達を行いました。(該当者は前号で紹介) そのほか、柔道部全国大会の壮行式、賞状伝達が行われました。

修学旅行報告会

2月18日、修学旅行報告会が行われました。はじめに修学旅行実行委員長2年2組大橋君から、「それぞれが学んできたことを発表してくれる場です。しっかり聞きましょう。」と挨拶がありました。

<沖縄コース>

2年5組中屋瑛竣くん「沖縄は、気温(冬も22度を越す)、さんご礁、料理など文化・自然の良さがある。戦争の歴史を学ぶと一層、沖縄を理解できる。」発表した。

2年1組の吉田柚奈さんが、食文化についての研究・発表:ちんすこうと題して、「中国の使いが、100年ほど前に琉球王朝に伝えた中国風焼きカステラが始め・・・。」と詳しく説明した。

<韓国コース>

この班は、班長の2年5組の村上俊太朗くんを中心に「伝統芸能ナンタのパフォーマンスは良かった。日本は、インドや、中国の文化を韓国を経由して学んできた。最近両国の関係がギクシャクしているが、歩み寄る心が大切ではないか。」発表した。

班長の2年2組山縣真奈穂さんを中心に、写真が一杯で、毎日の様子が分かりように説明し、「初めての海外旅行であり、一日一日が密度が濃く思い出に残ることばかりでした。」と感想を述べました。

4つの班から、それぞれ、パワーポイントを用い、写真を交えて、発表してくれました。

最後に小山副校長から「様々な、発表ありがとうございました

います。韓国コースの発表を聞いて、国際化社会を生きる皆さんは、お互いに分かり合おうとする気持ちが大切だと思いました。また、沖縄は大変な歴史を背負っているが、暖かい人柄がある。今回の旅行を通じて、皆さん自身が住みよい社会をつかっていく人になってほしい。」と講評がありました。

カナダ研修報告会!

2月26日(水)、教育系大学進学コース2年の今年度のカナダ研修報告会が行われました。保護者の方にもご出席いただきました。ありがとうございます。

ホームステイ毎にパワーポイント・映像を交えての報告でした。ホームステイでの食事など様々な点での文化の違いに気づいたり、個性がたっぷりの報告でした。中には「移住したくなった。」と言う人もいました。それぞれの10日間で今後の人生に役立つ経験となることを期待しています。1年4組の生徒は、英語の学習の必要性を感じたことと思います。

引率した菅原先生からは、「自分のスイッチを入れるのは自分。カナダ研修に前向きに考え準備するスイッチを入れるのも自分。」また、ジョシュア先生からは「トラブルは、一つの冒険であり、成長の機会。自分の力を信じて、コミュニケーションにトライしよう。」とお話がありました。

先輩からのアドバイス(特進)

3月18日(火)特進コース3年生から1.2年生への受験等についてアドバイスをしてもらいました。以下、アドバイスをまとめたものです。

五日市音央さん :岩手大 農。志望理由書(なぜ入りたいか)を簡潔に書けるように。面接は女優になりきる。小論文は作家になりきる。推薦は「らくらく」と思われがちだが、準備も大変だし、必ず合格

するわけでもない。

村岡太一君 :岩手県立大 ソフトウェア情報。あきらめないで最後まで頑張ることが大切。早くスイッチを入れて取り掛かろう。時間は必ず足りなくなる。外岡佳代子さん :弘前大 人文。国数瑛は先生方を頼って伸ばしていただいた。受験会場では他の人よりもできると思って取り組むこと。

遠藤春香さん :岩手県立大 総合政策。「ながら勉強」はやめること。受験は最後まで分からない。持続できる努力を!

小川亮一君 :ペットワールド専。動物が好きなので、動物看護師を目指す。自分の将来についてしっかり考えて進路を決めてください。

觸澤志さん :東北福祉大。心理学を学び、養護教諭の道へ進みたい。小論文に時間をかけて練習した。一般と推薦の両方の準備は時間がかかる。受験は不安が一杯。クラスの助け合いで乗り越えた。

菱谷由樹菜さん :東北文化学園 看護:本当に自分になりたいものを考え、この道に進む。覚悟を決めて進路を選択すること。「合格したければ、教えあったり助け合ったりする、中のいいクラスにすること」

佐々木耀佑君 :岩手大 教育。授業は集中して取り組むこと。予習9割。授業中の内職は駄目。分からないことを聞きあえるクラスでよかった。

菊池康太郎君 :岩手大 工。ポジティブな思考が武器。2年生を大切に。受験は総合力(学力だけでなく、体力、健康、精神力、人の話を聞く力・・・)

後輩たちのために、体験を熱心に話してくれた3年生の皆さんありがとうございます。発表後、1・2年生から質問・感想がたくさんあり、大変盛り上がりました。努力をした人には、必ずご褒美があります。

以上